

学校だより

埼玉大学教育学部附属特別支援学校
令和5年度 学校通信 No.1
令和5年4月10日



学校長 就任の挨拶

校長 石川 泰成

正門の草花が咲き誇る中、埼玉大学教育学部附属特別支援学校の令和5年度が始まりました。保護者の皆様におかれましてはお子様のご入学、ご進学、ご進級に心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。本校はこの春、進級、進学した児童生徒に加え、新たに16名の仲間を迎えての出発となります。



申し遅れましたが、私、前任の吉川はる奈校長の後任として着任いたしました、石川泰成(いしかわやすなり)と申します。微力ではございますが、子供たちの健やかな成長に向けて全力を尽くしてまいりたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。紙面をお借りし、もう少し自己紹介をさせていただきます。埼玉大学教育学部を卒業後、県内公立中学校教諭、埼玉大学教育学部附属中学校教諭・副校長、埼玉県教育委員会、文部科学省、県内公立小学校校長を経て現職となります。現在は、身体文化講座の教授として、教員養成や教科教育の研究に取り組んでおります。附属中学校での勤務経験がある関係で、この度、同じ附属学校園の本校に着任しましたことにご縁を感じるとともに、大変身の引き締まる思いです。これまでの経験を生かしつつ、新たな領域の学びを加え校長職を全うしたいと考えております。今は、早く子供たちと接したいと、わくわくしている状況です。

さて、令和5年度、以下のとおり学校教育目標等の実現に向けて教育活動を展開してまいります。昨年度、開校50周年の節目を迎えました。伝統を礎に新たな一歩を踏み出すべく、教職員一同、力を合わせて本校の教育に邁進して参ります。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には引き続きのご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。

【学校教育目標】

自己実現を目指して物事に積極的に取り組み、生き生きと社会生活のできる児童生徒を育成する。

< 学校教育目標で目指す児童生徒像 >

○自分の力を発揮して積極的に取り組む子 ○社会の中で生き生きと生活する子

【学部教育目標】

< 小学部 >

一人一人の実態に応じた生活に即した学習や体験的な学習を行い、さまざまな活動に興味関心をもって生き生きと取り組む児童を育成する。

○がんばる子 ○なかよくする子

< 中学部 >

集団の中で生徒一人一人に応じた適切な教育を行い、豊かな体験の積み重ねの中で、生徒一人一人が自分の力を発揮し、生活を自らの力で広げようとする生徒を育成する。

○やるべきことをやる生徒 ○やる気のある生徒 ○仲間と共に学ぶ生徒

< 高等部 >

中学校(部)までに身につけた力を基に、生徒一人一人の卒業後の家庭・職場・余暇の場における生活を見据え、個性を活かして社会の中で主体的に生活できる生徒を育成する。

○自律した生徒 ○自ら学ぶ生徒 ○社会性のある生徒

入学おめでとう 新入児童生徒の紹介

16名の新入生・転入生を迎えました。

【小学部】

【中学部】

【高等部】

いっしょに
がんばろうね!

